

新生児聴覚検査のご案内

赤ちゃんの聴覚に異常がないかを早期に発見するための検査です。
生まれつき、両側の耳の聞こえに異常があるお子さんは1,000人に1～2人とされています。この検査により、聴覚の異常を早期に発見し適切な治療を行うことで、言葉の発達への大きな効果が期待できます。

新生児聴覚検査はどのような検査ですか？

誕生した医療機関で生後2日～退院までの期間に行われます。
赤ちゃんが眠っている間にヘッドホンのような機械を当て反応を記録します。
5分程度で終わり、痛みは全くありません。
検査結果は、「パス」・「要再検査(リファア)」のいずれかで、
入院中に結果がわかります。

すべての赤ちゃんが検査を受けた方がよいですか？

耳の聞こえに障害があるかどうかは、外見ではわかりにくく、赤ちゃんの様子だけから判断することは困難です。早期に障害を発見するために、検査を受けることをお勧めします。

検査の結果が「要再検査」だったときは？

確認検査の結果、「要精密検査」であった場合でも、必ず耳の聞こえが悪いとは限りません。
下記の医療機関で詳しい検査を受け、耳の状態や聞こえの状況を把握することが重要です。

【北海道内の精密検査実施医療機関】

医療機関名	郵便番号	所在地	電話番号
北海道大学病院 耳鼻咽喉科	060-8648	札幌市北区北 14 条西 5 丁目	011-716-1161
札幌医科大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科	060-8543	札幌市中央区南 1 条西 16 丁目	011-611-2111
北海道立子ども総合医療・療育センター	006-0041	札幌市手稲区金山 1 条 1 丁目 240-6	011-691-5696
旭川医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	078-8510	旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1	0166-68-2554
医療法人耳鼻咽喉科麻生病院	007-0840	札幌市東区北 40 条東 1 丁目 1-7	011-731-4133
医療法人徹仁会 厚別耳鼻咽喉科医院	004-0065	札幌市厚別区厚別西 5 条 1-16-22	011-894-7003
とも耳鼻科クリニック	060-0061	札幌市中央区南 1 条西 16-1-246 ANNEX レーベンビル 2F	011-616-2000